

目標達成計画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。
目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	42	項目40,41の「食」に対する意識を高く持って支援できていると評価できる一方で、その支援に直結する口腔ケアの不十分さがみえる。	楽しみや健康を維持するためにも口腔ケア(正しい理解、確認、ケア、治療)の重要性を認識した取組が継続して行える。 そのことで、食事の楽しみが増える。	・各利用者の残歯、義歯、舌の状態、咀嚼、嚥下を確認把握し、どの部分へのアプローチを重視するか内科医、歯科医とも連携し検討。 ・正しいケアの方法を理解、獲得し、確実に実施する。	6ヶ月
2	43 ・ 44	排泄パターンを確認しながらトイレでの排泄を促しているが、使用する紙オムツ量が減らない現状がある。 また、排便は自然排便でなく、内服薬によってコントロールしている方が多い。	オムツゼロを意識し、利用者の健康、機能維持や不快軽減に繋げることができる。	・各利用者のアセスメントを細かく見直し、失敗の後始末ではなく、誘導方法を確立する ・毎月のオムツ使用状況を確認しながら、ケアの振り返りを行う。 ・食事、運動、定期誘導など自然排便に繋がる工夫を継続する。	9ヶ月
3	49 50 51	外出(地域との繋がり)、お金の使用、電話や手紙など、「暮らし」に目を向けた支援が少しずつ意識出来始めた段階であり、まだまだ一時的で一部の利用者に偏っている。	少しずつ実践できている「暮らし」の中の支援が、一部の方や一時的な支援にとどまらず、継続して行えるようになる。 そのことで、利用者の暮らしが豊かになる。	・暖かくなる時期をきっかけに、五感への刺激や記憶に繋がる場所への外出機会を増やす。 ・毎月の家族宛手紙に本人からの手紙を添える ・外出や買物の際、また移動パン屋が来所した際は、自分で選ぶ、自分で支払うことを支援する。	12ヶ月
4					ヶ月
5					ヶ月

注)項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。